

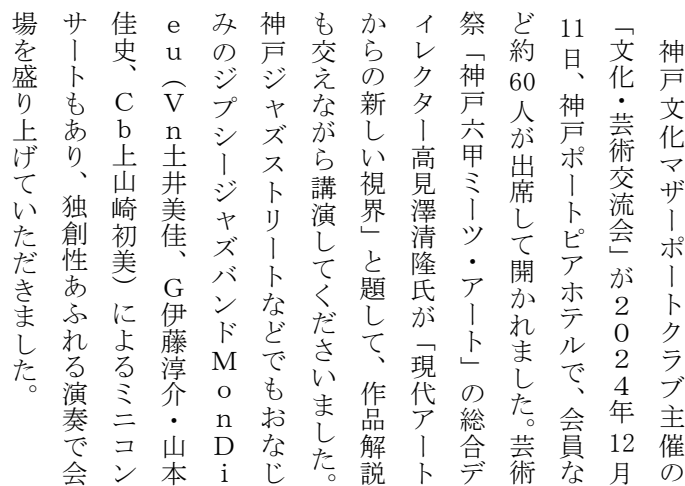
神戸文化ホール開館50周年記念事業、ヴェルディ・オペラ《ファルスタツフ》

ここに文章を入力しますここに文章を
入力しますここに文章を入力しますこ
ここに文章を入力します

神戸ならではの美味しい食事と、ジャズとフルートを中心にステージプログラムが実施されました。

スーパーストリングスコーベのヴァイ

参加者は、暮れなずむ神戸港の夕景・夜景や語らいを楽しみながら食事を摂り、櫃本樹音さん、瑠音さん姉妹によるデュオライブも満喫。クラブ事務局長の服部孝司・神戸市民文化振興財団理事長が「来夏は神戸国際フルートコンクールが開催されます。コンクールに向けて、一緒に盛り上げていきましょう」と呼びかけ、閉会しました。



15年 ■ 「神戸六甲ミーツ・アート」の歩んだ

六甲山の集客を回復しようと展望台やミュージアムを作るうち、「六甲山に彫刻を置けば人が来るのでは？」ということ、私に声がかかりました。ただ、彫刻は価値を伝えていく工夫をしないといけないので、芸術祭をすることにな

アーティストの選定も、出展者とのコミュニケーションも難しいです。美術館と異なり、屋外では作品を見たくない人も見してしまうことがあります。

分かりやすい作品と、謎解きの必要な

作品を展示すると、専門家からは「物足りない」、一般からは「こんな分らないもので金をとるのか」と双方から

クレームが来ますが、実はそれが健全な状態なのかなと思います。現代アートの「これが正解」というものを示す

のではなく、鑑賞した人がどう作品にアプローチするかという場を作ることが、私たちの仕事だと思っています。

展覧会をデザインするにあたっては、想像通りの見てもらい方だけを考えていては、予定調和で現代アートの意味がなくなってしまう。そのバランスをとるために、公募をしています。

現代アートについては、さまざま

見解があると思いますが、平たく言う
と、読み解く楽しさ、考えることの面
白さを再認識する絶好の素材で、自分

アート思考とは、明確な解答を求めるのではなく、「問い」を創り出し、深めることに重点を置きます。「なぜこう感じるのか」「別の視点ではどう見えるか」と、問いを見出していくのです。常識やルールに縛られず、個性的な視点やユニークな表現を探求します。

今後のミーツ・アートは、出展アーティストの充実を始め、山中の散策路沿いに作品展示するなど会場も充実させます。会期外でも鑑賞できるように

し、六甲山の新たな魅力に出会える場づくりを目指します。

15年やって来ましたが、まだまだ神戸市民に知られていません。大阪からの来場者が一番多いのです。これを使い越えていかなければいけないと思っています。そして、この芸術祭が一つの思想に収斂されていくには、まだ10年、20年かかるだろうと思っています。(談)

[illegible]

六甲

当クラブは、今年8月から行われる「神戸六甲ミーツ・アートbeyond」に新たに「神戸文化マザーポートクラブ賞」を出し、若手アーティストを支援します。

第11回神戸国際フルートコンクール

第11回神戸国際フルートコンクールが今年8月29日から9月7日まで、神戸文化ホールで開催されます。当クラブ主催の入賞者祝賀パーティーは9月7日午後6時から、神戸港第1突堤のラ・スイート神戸オーシャンズガーデンで開催します。奮ってご参加ください。

編集後記

今号は、初の船上パーティーと、年に



一度の交流会のご報告です。コロナ禍が落ち着き、神戸空港の国際チャーター便就航、アリーナ神戸オープンと、ミナトが活況を呈してきました。一方で、六甲山も神戸の大きな財産です。山頂から海まで10キロもない、自然と都市、海が近接する魅力あふれる神戸を、阪神・淡路大震災から30年の節目、そして大阪・関西万博の今年、どんどんPRしていきたいと思っています。

編集・発行

神戸文化マザーポートクラブ事務局

(公財) 神戸市民文化振興財団内

〒651-0017

神戸市中央区楠町4-2-2

T e l . 0 7 8 - 3 6 1 - 7 1 0 5

F a x . 0 7 8 - 3 5 1 - 3 1 2 1

<https://www.kobe-bunka.jp/kbmpc/>